



サバ～イデー～



ສະບາຍດີ

編集 南砺ラオス会

■第8次ラオス訪問団報告

平成24年2月2日(木)～2月7日(火)、第8次ラオス訪問団を派遣しました。

今回の参加人数は11名。中部国際空港からベトナム・ハノイで乗り継ぎ、ラオスの北部に位置する世界遺産の街ルアンパバンへ赴きました。



ルアンパバン中心部から車で1時間ほどにあるフェイカン中学校を訪問し、南砺市内の企業・団体が収集された衣類を寄贈しました。子供たちは笑顔を返してくれました。



早朝、ルアンパバンでは僧侶がお布施を受けに街中をあるく托鉢が行われていました。多くの寺院が集中するルアンパバンならではの光景です。



ルアンパバンを流れるメコン川。

メコン川は、チベット高原に源流を發し、中国、ミャンマー、ラオス、タイ、カンボジア、ベトナムへと抜ける総延長約4000キロメートルの大河です。ゆったりとした雰囲気心が癒してくれます。





ラオスの首都ビエンチャン市内のナイローム幼稚園を訪問し、お菓子を寄贈しました。

園児達はお遊戯を披露し、私たちを歓迎してくれました。



第1回訪問団以来交流が続く、イーライ村のイーライ中学校へ訪問しました。南砺市立吉江中学校から託された図書費、遊休品、絵画を贈呈しました。一方、イーライ中学校からは絵画を頂きました。この絵画は吉江中学校に展示されています。

最終日、ラオスの人々の生活には切っても切れない宗教上の大切な儀式、パーシー儀式がとりおこなわれました。出会い、幸福、旅の無事を願って行われる儀式です。村の人々が木綿の白い糸を私たちの腕に巻きつけてくださいました。相手の幸せを願う温かい思いが込められているのが伝わってきました。